



受賞された団体・個人の皆さんと最上会長（後列左から4人目）

2月26日（土）開催予定していた第57回秋田県小林多喜二祭は「コロナ」で延期になりましたが、「県多喜二祭賞」の授賞式は行われました。今年の賞は、イージスアシヨア反対の運動に尽力し、配備断念に寄与した2団体に贈られました。配備候補地の地元16町内会がまとまって反対運動を続けた「新屋勝平地区振興会」と、地域有志による「イージスアシヨアを考える勝平の会」です。授賞式は秋田市の「イヤタカ」で、実行委員が参加し、賞状（以下次頁）

県多喜二祭賞授賞式 行われる



【秋田県版】

No. 369

2022年3月15日

**治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟**

発行人：田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4**秋田県本部**

〒014-1413
秋田県大仙市角間川町
宇東中上町27
最上健造方
TEL&FAX
0187-65-2115

同盟運動の目的

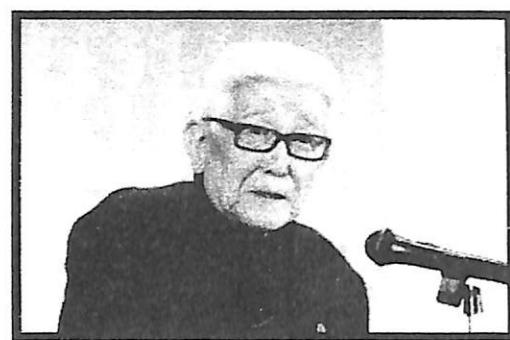
- 1、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 2、国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
- 3、国は、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容を公表すること

3月に入った。 「2万人同盟実現特別期間」はじまる！

国会請願は5月11日に決定！

3月に入りました。6月の全国大会めざす「特別期間」に、すべての支部が「拡大推進委員会」をつくる、支部の自主目標達成に全力をあげましょう。

国会請願は5月11日に決まりました。署名の遅れを打破し、支部目標を達成しましょう。



在りし日の増本会長

増本一彦会長（元日本共産党衆院議員）の訃報に接し、哀惜の念に堪えません。

想い返せば羽後銀行従業員組合（羽後従組）は、組合の分裂攻撃と職場における徹底的な差別扱いの攻撃を受けていました。それに反撃するため1972年6月に秋田県に1972年6月に秋田県に

在りし日の増本会長

羽後従組は上部団体の全国

地方労働委員会に不当差別撤回の提訴をし、第三者機関でのたかいを始めました。その地労委提訴と結合して、ストライキ戦術や市民向けビラ宣伝、営業店前での抗議集会など様々なたかいを展開しました。そして、1973年6月からは本店前での12日間の座り込み行動などを展開し、市民やマスコミの耳目を集めました。

時あたかも1972年12月の衆院選は、秋田1区で中川利三郎さんが初当選、全国的にも日本共産党が38議席に躍進、その時に増本一彦さんは36歳弁護士・神奈川3区で初当選し、大蔵委員会で活躍していました。

銀行への立ち入り調査（左から2人目）

銀行への立ち入り調査（左から2人目）

増本一彦会長を心より悼む
元羽後従組委員長 鈴木 政隆
国賠秋田支部・県革新懇事務室長

（次頁につづく）

日本共産党の調査団が羽後銀行に入った時、こんなハプニングが起こったことも思ひだされます。それは銀行に調査に入って後、増本一彦議員が組合の座り込みを激励しているときに、4階の業務室の窓を開けて銀行の部長が、増本一彦議員の頭上から「バカ」呼ばわりの暴言を吐き、増本議員は弁護士資格で「侮辱罪」で提訴したということがありました。

また、増本一彦議員に同行で、日本共産党国会議員団による調査が、6月と8月の2回行われました。その時の調査団は、中川利三郎議員と増本一彦大蔵委員でした。調査団が羽後銀行に入ったことでマスコミも大々的に取り上げ、羽後従組のたかいは一挙に

50年余り前の30代の若かり



(勝平の会) の皆さん



挨拶する工藤一経実行委員長



賞を受ける（振興会代表）



映画
「わが青春つくるとも
伊藤千代子の生涯」

秋田会場の上映日決まる

日時 6月15日（水）午後1時
30分（3回上映）

場所 秋田市文化会館小ホール

各支部からも観賞に行って、地域での上映運動の力にしようと。
各支部は、まず「同盟内実行委員会」をつくり、地域実行委員会の力になろう。
なお県実行委員会では、当面、大館市、能代市、大仙市に実行委員会を発足させたいと考えています。

今年は小林多喜二が特高に虐殺されてから60周年にあたり、秋田県でもさまざまな集会が持たれました。私は多喜二が虐殺された1933年はまだ小学生でしたからそのときの記憶はなにもありません。

ストル自殺をしようとしたが失敗しました。日本国民の多くは「生きて虜囚の辱めを受けることなかれと戦陣訓で言った当の本人が自決に失敗するとはな」と冷笑しましたし、「このあとの天皇の戦争責任はどうなるのか」とそろそろ話題になっていました。

そのように騒然としていたころ、11月に入つてからある朝新聞の社会面を見た私は「あつ」と息をのみました。

そこには私の小学校の同級生で同じ机に座つて勉強した佐藤武治君（仮名）が、妻子を刺殺して自決したという記事が大きく掲載されていましたから

た罪に怖れおののき、逮捕され処刑される前に自決し、自ら命を絶つたのでした。そのとき27才でした。もちろん私も27才でしたが、それから48年長い歳月が流れました。

半世紀に近い年月が流れましたが、私は今でもこの陸軍憲兵軍曹の死を忘れることはありませんでしたし、その後の日本の中に尾をひいている憲兵的性格の政治に憤りを感じて生きてきました。

◇

そこで私は、最近の朝鮮人従軍慰安婦の強制連行や朝鮮人労働者強制連行が国際問題として改めて表面化している

その内容は、このあと一編の小説として表現したいと思っており、このあとぜひ国賠同盟の会員の皆さんにも読んで頂きたいと念願していますが、ここで書いてみたいのは、これら関東軍の憲兵が、どのような法律を盾として中国人民を弾圧し虐殺したのかについてだけ書いてみたいと思つたのです。

◇ ◇

多喜一が虐殺される2年まえの昭和6年に、日本軍は中国の柳条溝で鉄道爆破事件をでっち上げ、これを口実にして全満州を占領し『満州国』

不屈」再録シリーズ(12)
県版「不屈」No.23(1993年4月)より

私と武治君はいわば竹馬の友であり、私の結婚式にも出席しましたし、民謡のうまい青年でした。彼が関東軍憲兵

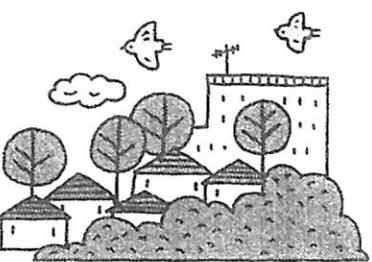
折から、自決した武治君らは
旧満州国でどのよう所業をし
てきたかを取材し、一編の短
編小説をまとめてみたいと思つ
て、いろいろと、武治君と共に

し頃のたたかいでしたが、こうしたたかいでしたが、この運動の礎になつてゐることを想起します。増本一彦議員はその後、税制改革、消費税廃止運動、革新懇運動など、多くの運動に寄与しながら、終には国賠同盟本部会長として大きな足跡を残されていることを痛感します。

人それぞれにきするところがあると思うに、先達の人生の証しを後世に継承する、二度と再び戦争の惨禍を招かない鉄壁を築いていくたたかいは何事にもかえ難い人間の輝ける価値ではないだろうか。その大きな役割と塊が国賠同盟ではないかと、この一文を書きながら沸々と痛感しています。増本一彦会長の遺志を受け継ぎ、微力ながら奮闘したいと思います。

増本一彦会長のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

育つ孫軍服姿見たくない
堺市 大和峯二一
（2022年2月21日
「しんぶん赤旗」より）



▼東京都本部発酵「不屈」から転載

政府は佐渡の金山の世界遺産登録への推薦を決めたが、韓国政府が反発してきた。問題は戦時に朝鮮人に強制的で過酷な労働をさせた歴史の認否にある。現地（旧相川町）の歴史には、この実態が詳しく書き残されている▼私は一昨年秋田の「花岡事件」ツアーに参加した。そこでは中国人が過酷な労働かされ方をしていた。彼らは逃げ切れないとわかつても、人間の尊厳をかけて蜂起。すぐに鎮圧され、さらにひどい制裁があった。当時の近隣住民は犠牲者を悼むため密かな思いを町の歴史に書き込み、姫観音を田沢湖畔に建てた。今は供養塔も建て、犠牲者遺族も来て合同で慰靈をしている▼現地ではどちらもこの事実を認め、2度と繰り返すことがないようになると書き残している。草の根の庶民は歴史の事実を認め合い、今後は手をつなぐ仲間になるようと話し合っている。今こそ、国に治安維持法体制を真に反省し、憲法を築かなくてはと迫る、まさに同盟の出番。

2022年2月26日

ロシア連邦大使館 御中

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
秋田県本部 会長 最上健造

ロシアのウクライナ侵略と反戦行動弾圧に抗議し、
ただちに中止することを強く求めます

ロシア軍による独立国ウクライナ侵略は、国連憲章に違反した不当な暴挙です。またロシア国民の反戦行動への弾圧も許されるものではありません。

私たち治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟は、「再び戦争と暗黒政治を許さない」社会実現のため日々活動しています。

歴史の教訓からも、現在の国際秩序からも、ロシアの侵略と弾圧の不当性は明らかです。

侵略と弾圧に抗議し、直ちに中止することを要求します。

以上

ロシア大使館に「ウクライナ侵略と国民弾圧」に抗議し直ちに中止するよう強く要請

県本部会長

能代山本支部は独自に「不届」を発行しています。

各支部も発行しております！

〔不届〕能代山本版2022年1月15日号(文責・松山)

新年を迎え、おめでとうございます。
「市民と立憲野党の共闘」が前進する

元気な年にしましょう！

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟能代山本支部会長 加賀繁
2022.1.15
016-0801
能代市駅前通4-1
hs-53-4211

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

能代山本支部
会長

2022.1.15

016-0801
能代市駅前通4-1
hs-53-4211

3

ふたつの公報や新聞政治を併せて読むために

1. 1回にわたり複数回読むことで、人間が見る範囲がある

2. 2回は必ず複数回読むことで、人間が見る範囲をこえて

3. 3回は必ず複数回読むことで、人間が見る範囲をこえて

4. 4回は必ず複数回読むことで、人間が見る範囲をこえて

5. 5回は必ず複数回読むことで、人間が見る範囲をこえて

① 国は治安維持法が人道に反する悪法であることを認め(れい)い。

② 国は犠牲者に謝罪し、賠償を行つこと。

③ 国は犠牲者の実態と内容を公表すること。

この目標を掲げて毎年国家賠償の法制化を求める署名を国会に届けてきました。昨年十一月、野党一二〇名の議員のみなさんから紹介議員になつていただきました。秋田県関係は次の方々です。

寺田学衆院議員(比・東北・立)、緑川貴士衆院議員(小・秋田2区・立)、高橋千鶴子衆院議員(比・東北・共)、寺田静參院議員(秋田・無)

戦後歴代政権は、国民に対して戦争責任をどう扱うべきか、治安維持法犠牲者に対する謝罪もしないまま、「国民主権」を現憲法から排除したとしている彼らの思惑は見え見えです。昨年十月の総選挙で国会における「力闘派」に変化が生まれた中で「市民と立憲野党の共闘」の発展は特別に重要です。

② 二つの署名(イ)、国語の黄色の署名、ロ、憲法改悪を許さない全国署名を市



「戦争法廃止・9条改憲 NO! 335回目」寒波の中のスタンディング 2021/12/26
(写真提供:平和委員会・塚本茂男さん)